

## USHA Japan 第 26 回臨時理事会議事録案

2021 年 10 月 23 日(土) 15:00～16:00

場所: ZOOM 会議

司会・進行 Prakash

出席者: 小野、Prakash Acharya、橋本、井上、酒井、井村、滝井(敬称略)

### 1. 報告

#### 草の根支援(小野)

ネパール特定技能合格者を対象としたリモート交流会を 3 回実施。

第 1 回: Covid-19 のパンデミック流行の現状(小野)、USHA Japan について(井村)、第 2 回: 日本の習慣について(富永)、日本で働く様子、ライブ中継、(Purshottma)、3 回目: ネパールでの経験、日本の状況(滝井)。交流会に参加したネパール人には高評価であった。

### 2. ネパール情報(Prakash)

- ・ 新型コロナ感染は落ちついてきている。第 1 回ワクチン接種は国民の 40% 済み。
- ・ 日本に行くために特定技能、留学生、労働者、家族滞在など 1 万 3000 人待機している。
- ・ 他の国と比較して、日本入国の緩和が遅い。イギリスは留学への出国が始まっている。
- ・ Prakash 顧問、1 月に来日予定。

### 3. 審議

#### 1) コロナ後の本会活動見直しについて(小野)

- ・ 2 年間、理事会をリモートで実施したがコミュニケーションギャップなどの問題が生じている。規約に則り活動の抜本的な見直しを図る。規約ならびに設立趣旨書に記載されているネパール人留学生の字句を、広くネパール人材と改めたい。
- ・ 活動チームを絞り、チームリーダーにチーム編成を委ねて自主な組織を構築する。

改選役員は会長: 小野、副会長: Prakash、酒井、事務局: 井村、滝井、監事: 橋本、金子である。

① 活動計画 定例会はオンラインと対面での会議、ハイブリットで実施する。

② 人材育成・教育生活支援活動 担当: Prakash

③ 草の根交流活動 担当: Purushottam Prakash, Bindu Dhakal

④ ネパールにおける健康で豊かな健康作り 担当: 酒井

以上、これらの内容を総会にかけ、承認を得る。

大きな組織で活動拡大を図る NGO でなく、小さいながらもキラリと光る独自性、先鋭的な NGO を目指したい。

#### 2) 総会について(井村)

日時 11 月 27 日(土曜) 15 時～ コロナの状況が未だ不定のためリモート総会とする。

内容については送付済みの資料を参照。

議長・書記については検討中。

2020 年度会計報告については現在、監査とやり取りをし、総会までに監査承認を得る。

#### 3) トヨタ財団外部助成申請について(井上)

- ・ トヨタ財団支援している人材について、特定技能、技能実習生、留学生は現在、100 万以上を対象。
  - ・ 技能実習生は研修(学ぶ)ことが主だが、事実上、低賃金での労働力としてみなされている。
  - ・ 特定技能は労働条件等整っているが、企業としてはお金がかかる。
  - ・ 外国人の採用について特定技能は大企業や英語能力での採用、また特に人手が足りない介護職で採用が多い。
  - ・ USHA JAPAN で支援するネパール人材について、兵庫県内の特にその多くが住む阪神間にしてみてもどうか？
  - ・ 特定技能はほとんど初めてくる人が多いので、精神面でのサポートをしてはどうか？
- 以上、これらの内容に基づき申請する。

#### 4) その他

・ 11 月 14 日(日) 17:15～リモート交流会は Tara Lohan 先生にゲストスピーカを依頼、交流の内容をHPにアップしてはどうか。

・ 富永理事から退会届が出され、会長より経緯と事情説明があり、2 年間の活動実績に感謝し、本会発展への貢献を讃えて承認された。

次回 Zoom 理事会予定 12 月 4 日(土) 15:00～16:00